



0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

タイトル番号 : 0052

書名 : 義人遺草

1冊

編入
49.3.30 和
73-8241

佩弦青山先生輯

義人遺草

江戸書肆 玉山堂

水戸書肆 東廨樓 叢

義人遺草序

忠義大節也詞章小技也大節
既顯何問小技然忠精之氣發
為詞章雖一語之微亦足以聳
勵人心扶植紹常此乃以其人
傳者固不得以小技輕之也亦

義人遺草序

穗諸士之忠烈聞天下遺墨殘
牘人爭寶玩而至其篇詠未聞
有輯而錄之者余搜索諸書獲
歌詩若干篇輯為一卷余於諸
士嘗為之傳於其遺草尤有感
焉夫社稷淪覆人心駭沮而義

衆決死伺仇韜閔隱忍東西漂
泊觸物生感故其詞沈鬱而慨
切鼓勇赴義奮迅衝擊風雪裂
膚鐵衣濺血手挈仇頭相顧而
笑意氣亦壯故其詞爽健而凜
冽及其就死含笑入地故其詞

開豁而雄快讀其詞而想其人
亦足以觀其籌算詳熟志氣安
靜此所謂以其人傳者何待余
輯錄然吾聞衆之舉事吉田兼
亮取平生吟草併故紙焚之是
其不傳者亦已多矣則其僅存

於焚擲之餘者尤為可惜此余
之所以不能無輯錄也如其遺
漏則同志之士為我補焉天保
乙未春二月水府青山延光叙

百歩のうきをかねくみみま 雅お松の子代やるわん

梅

かみくくー ちかふあー ちかふあー 垣後の梅さますよひあす

松

ふさぬまへあれもあー くのひさうまはちの川 けろくそ

梅

くねくねー ちかふあー ちかふあー 梅もよまそー けろくの海きまのな

二月まのちかふあー ちかふあー

九重ののれみまけー くのひさうまはちの川 けろくそ

さねのちかふあー

ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー

藤田らちかふあー

ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー

法見舞

ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー

古のちか

ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー

群世

ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー ちかふあー

おののちかふあー ちかふあー ちかふあー 原元辰

あつしひのちとてあまのふらふらあまのちかあまのちか

辞世

いねのちかあまのちかあまのちかあまのちかあまのちか

時百哉

小聖寺秀和

あまのちかあまのちかあまのちかあまのちかあまのちか

岩倉志を

あまのちかあまのちかあまのちかあまのちかあまのちか

老後述懐

あまのちかあまのちかあまのちかあまのちかあまのちか

元禄十五年の冬都を去るの書より

あまのちかあまのちかあまのちかあまのちかあまのちか

あまのちか

あまのちかあまのちかあまのちかあまのちかあまのちか

志賀の浦

あまのちかあまのちかあまのちかあまのちかあまのちか

志賀の浦

あまのちかあまのちかあまのちかあまのちかあまのちか

志賀の浦

あまのちかあまのちかあまのちかあまのちかあまのちか

志賀の浦

これらも海軍の発展の爲め
江戸の文藝家

若狭の海軍の発展の爲め

辞世

若狭の海軍の発展の爲め

檢志

岡光延

若狭の海軍の発展の爲め

辞世

若狭の海軍の発展の爲め

春帆留賛

甲斐の姉の
見るまじい

了齋正固

若狭の海軍の発展の爲め

辞世

潮田守成

若狭の海軍の発展の爲め

同

子水清亮

若狭の海軍の発展の爲め

魚坂

神崎昌休

若狭の海軍の発展の爲め

若狭

若狭の海軍の発展の爲め

若狭

若狭の海軍の発展の爲め

若狭

若狭の海軍の発展の爲め

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short note.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

馬中意云

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.